

活動名	家庭科特別非常勤講座	報告者	家庭科
日時	5月20日(月) 13:15～:15:05		
場所	作法室		
参加人数(所属)	生徒 22名(まちIV)、教員 1名		
目的	茶道を通して、災害時に動じない心や態度を学ぶ。		

まちづくり科目「防災(災害時の生活)」の授業で、名村先生による「災害時の心構え」について、講義をしていただきました。

初めに軸の「和敬清寂」の意味や、茶道の基本の考え方である「利休七則」を説明していただきました。生徒は、茶道の教えを通じて、日頃から災害において備えをしておく大切さや、災害時でも何事にも動じない心を学びました。

<生徒の感想>

災害が起こったときは、焦って心の余裕がなくなってしまうかもしれませんが、そのような時こそリズムを作り、心を落ち着けることが大切だと教えて頂きました。心に余裕がない時、頭の中で順序立てて行動しようとしても混乱してしまい、結局どうしたら良いのか分からなくなってしまうことが良くあります。そんな時は、大きく深呼吸し、空気を入れ換え冷静な判断をすることで命が助かる可能性が高いと、教えて頂きました。今のうちから思わぬ出来事が起こっても『落ち着いて』と考えられるようにしていきたいです。

また、礼儀や作法が人付き合いに大きな影響があるとも言われていたので、防災の授業を通してこの授業で学んでいきたいです。



授業風景

普段は橋の欄干風。堤防と気付かない人も多い。しかし、曇をはめ込んだら氾濫を防ぐ堤防に変身